

授業科目	法社会学演習
演習題目	現代日本社会の法・倫理・社会規範を考える
担当教員	江口 厚仁
授業の目的	<p>本ゼミにおける議論の基本的スタンスは、みなさんが日常生活を送る中で、あるいはネットやメディアの観察をつうじて「ふと疑問に思った出来事／現象」を手掛かりに、現代日本社会の「規範状況」（広義の法・ルール・制度・倫理・慣行をめぐる問題群）を、社会システム理論をはじめとする社会的な方法論を用いて、複眼的に観察・分析・批判していくことにあります。</p>
履修条件	<p>履修条件は特にありません。ミクロ／マクロを問わず、さまざまな社会現象／社会関係／社会問題への「知的好奇心」が旺盛な学生さん向きかな、とは思います。</p> <p>【重要】私は来年度末に定年退職いたしますので、<u>来年度の新3年生は本ゼミとしての登録をお控えください。</u>ただし、サブゼミとして登録することは妨げません。</p>
教科書・参考書	<p>全員が必ず携帯すべき「共通テキスト」はありません。参加者のみなさんは、自分自身の選んだテーマに即した関連文献・資料を、まずは自力でしっかり集めていただくことになります。必要があれば、フィールドワークによるデータ収集も実施してください。その都度、アドバイスやサポートは行いますので、遠慮なくお申し出ください。</p>
授業の計画・内容	<p>参加者のノルマは以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 参加者各人（あるいはチーム）が、適宜、自分たちの選んだ研究テーマに関する研究経過・進捗状況報告を行うこと、 ② 文献資料のみに頼らず、できるだけフィールドワークを組み込んだ調査・研究を計画・実施すること、 ③ 1年間の研究をもとに、最終的に「ゼミ論文（リサーチ・ペーパー形式でも可）」を1本作成すること。 <p>事前に準備された年間計画・進行表はありません。すべてはゼミ参加者の合議により、その都度の状況に応じて、ひたすらフレキシブルに運営します。</p>
成績評価の方法	<p>成績評価は、平素の議論への参加度／貢献度(50%)と、ゼミ論の頑張り度／出来映え(50%)の総合判断により判定いたします。</p>